

<研究名称>

CAS 治療におけるステントの種類(open-cell vs close-cell)と術後低血圧の関連性の検討

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 脳神経外科 瀧澤 克己

実施担当者 脳神経外科 和田 始、櫻井 寿郎、水野 遼太郎

<研究期間>

2018 年からの当院の CAS 症例を登録。2025 年 4 月までの症例を倫理委員会承認後より検討する

<診療・研究の目的>

当院で使用してきた open cell stent (PRECISE, Protégé) と close cell stent (CASPER) における術後低血圧の発生率を、術後微小脳梗塞の出現頻度とともに、比較検討する

<実施内容 (方法) >

[対象者]

- ・ 2018 年 1 月から当院にて施行された内頸動脈狭窄症に対する内頸動脈ステント留置術を行った症例。

[測定項目]

- ・ 患者背景として、年齢、性別、高血圧症、糖尿病、脂質異常症、心疾患、喫煙歴、脳梗塞症候性の有無について検討。
- ・ 説明変数として CASPER stent を close cell stent、Precise 及び Protégé stent を open cell stent として 2 群として分類。遠位プロテクションデバイスとして filter 群として EZ-filter、SPIDER を、バルーンプロテクションとして gourd wire を。更に病変部の椎体での高さ、石灰化の有無、程度、内頸動脈径と使用した stent 径を検討。
- ・ 目的変数として、術後低血圧、術後の MRI の拡散強調像での新鮮脳梗塞像の出現数を検討する。

[調査項目]

- ・ 脳血管内治療を要した原疾患、合併症の有無、血小板凝集能の結果で抗血小板剤の投与量の変更の有無および、臨床経過。脳卒中症例では既往歴、脳卒中の病型、内服薬。

[解析、統計方法]

- ・ 術後低血圧は収縮期血圧が 90mmHg 以下で昇圧剤を使用したものと定義。
- ・ CASPER を close cell stent、Precise 及び Protégé を open cell stent として、2 群間の術後低血圧の発生率を Fisher の正確検定を用いて検討。
- ・ EPD の違いや術後低血圧の予測因子として考えられ得る病変部の情報も併せて検討。
- ・ 術後 DWI-high の出現率についても併せて検討

<危険性（副作用）等>

特になし

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 脳神経外科 和田 始 TEL：0166-22-8111、FAX：0166-24-4648